

# 不登校・別室登校児童生徒の学習状況の見取り方

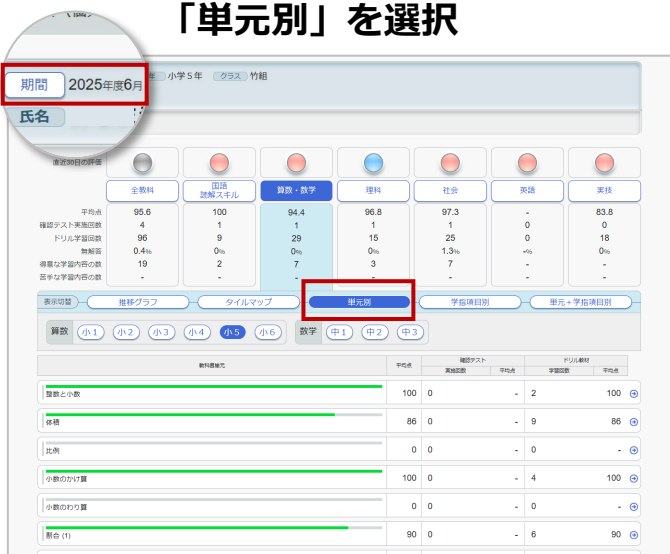
**Q** 家庭や教育支援センターで学習した児童生徒の学習履歴を先生が確認することはできますか？

**A** : 「成績管理」から、児童生徒が学習した教科や単元、教材ごとに、得点や学習時間を確認することができます。



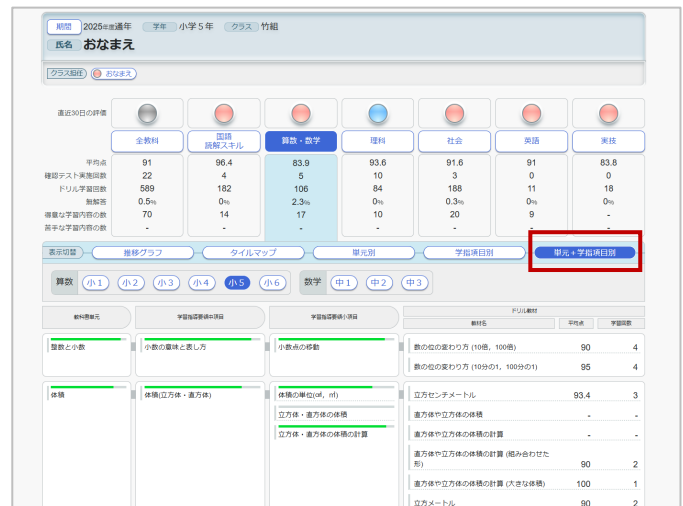
**特長 1** 期間を指定して、教科ごとに学習回数と平均点を確認する

「単元別」を選択



**特長 2** 学習指導要領や教科書の単元に沿った理解状況を確認する

「単元+学指項目別」を選択



## ポイント1

定期的な確認で、学習回数は継続の様子を、平均点は理解の様子を把握

1週間や1か月など、一定期間の学習状況を確認できます。初めは本人のペースに合わせ、無理なく学習を継続できるよう支援しましょう。

- 例1：1週間ごとに学習回数を確認する
- 例2：1か月ごとに単元の平均点を振り返る など

## ポイント2

得意な教科で自信を育み、苦手な教科にはさかのぼり学習を提案

まずは取り組みやすい教材で楽しく学習できるよう配慮し、本人の意欲に合わせて苦手な内容の克服も提案しましょう。

- 例1：学指小項目の理解度ゲージを確認する
- 例2：平均点と学習回数から取組状況を見る など

## ポイント

先生・保護者・指導員が連携して、定期的に情報を共有する



教育支援センター



家庭



学校

不登校や別室登校の児童生徒の自信や意欲を育むためには、日々の頑張りを大人が認め、ほめたり励ましたりすることが大切です。児童生徒への声かけに迷う場合は、成績管理の学習データをご確認ください。学習の状況や取り組みの様子を把握する手がかりとして活用できます。

また、先生が児童生徒の学習している様子を直接確認できない場合でも、学習データを参考にすることで、保護者や指導員から学習状況を聞き取りやすくなり、今後の支援方針も共有しやすくなります。

# 個人の学習履歴を確認する

## Step 1 【成績管理へ】を選択



## Step 4 【個人分析へ】を選択



前の画面に戻る

個人分析へ

## Step 2 学年のタブを開く



## Step 5 対象者 → を選択



教科ごとに以下のデータを確認できます。

<データの例>

- ・平均点
- ・確認テスト実施回数
- ・ドリル学習回数
- ・無解答 など

## Step 3 対象クラス → を選択



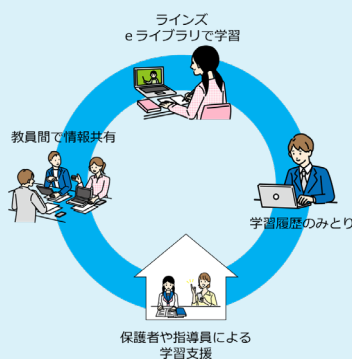
## Step 6 期間・教科名を選択



→ 画面の概要は表面をご覧ください。

## ポイント

### 不登校・別室登校児童生徒への学習支援サイクル



様々な事情で登校できない児童生徒に対して、タブレットで学習する環境を提供することで、児童生徒は自分に合った教材を学習し、学習履歴を残すことができるようになります。以下は、ラインズeライブラリを活用した学習支援の例です。

- ①児童生徒が学校以外の環境でラインズeライブラリを活用して学習する
- ②教員が児童生徒の学習履歴を確認する
- ③学習履歴を参考にして、保護者や指導員に学習支援をお願いする
- ④保護者や指導員から得た児童生徒の情報を教員間で共有する